



# NIT HIROSHIMA 学校だより

No.67

## CONTENTS

校長挨拶	1	学生会活動	3
新学科紹介	2	商船祭	5
教務主事報告	3	学校の取組（高専高度化推進事業）	7
学生主事報告	4	学校の取組（地域貢献活動）	8
寮務主事報告	5	ニュースダイジェスト	20
学生相談室報告	6	国際交流室活動	22
クラブ活動報告	7	新任教員紹介	23
クラブ活動等の大会報告	8	教職員表彰	24
在学生表彰	11		
卒業生表彰	12		



独立行政法人 国立高等専門学校機構

広島商船高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Hiroshima College

## 校長挨拶

-伝えられるもの-



校長  
へんみ しん  
逸見 真

皆様には平素より本校へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年4月に赴任しておおよそ1年が経ちました。広島という名の知名度の高さについては改めて述べるまでもありませんが、前職の勤務地であった東京都、住まいのある神奈川県より遥か瀬戸内の大崎上島に一步を占めた心象は、気候温暖、風光明媚、都会の喧騒なく日々平穏と、正に期待通りのものでした。本校には高校より大学二年生にあたる15歳から20歳まで、600名を超える学生が在籍しています。皆、おおらかかつ利発なうえに元気旺盛であるところは、他校の生徒、学生と大差はありません。ただ海、山と大自然を謳歌できる離島という環境で学ぶ彼女らはより一層、人間性に磨きをかけ、併せて自律心をも養える点で、正に青春期を送るにふさわしい理想郷にあるといえるでしょう。

さて私がまったく予想だにせず、赴任して初めて心動かされたことがあります。学生の中にはかつて本校で学んだOBである保護者や親戚、在学中の兄弟姉妹を持つ者が少なくない事実です。

例えば父親または母親、叔父叔母が本校の卒業生である、兄や姉、いとこはとこが通っていた、あるいは現在、在学中、同様に弟妹が低学年にいる等とパターンは多様です。中には双子で通う学生らもいます。

母校に大切な身内を託すのは、学び舎に愛校心、そこまで大仰に言わずともえも言われぬ良い思い出や色あせない親近感があったり、公私に渡り長く付き合う学友、同窓がいたり、職業、年齢を問わず本校と何らかのきずなを持ち続けている証ではないか、総じて本校で過ごした日々が、自身の若かりし時を飾るにふさわしい体験であった頭れでもありましょう。また学生自身が先輩である身内を見て憧れたり、親しみを感じたりして志望に至ることもあるでしょう。こうした例は私の前職の教育機関でも探せば見つけ得るでしょうが、そう耳にしなかったことより寡聞の域を出ないのが実際のところと思います。

この特異な傾向の背景には、本校の持つ高専としての専門性、良好な就職状況に加えて、中学で真摯に勉強すれば合格できるレベルにあることや盛況な部活動もきっかけとなっているのではと思うものの、まずはかつて学んだ本校への愛着が有言あるいは以心伝心、伝えられる前提、いわば身内による保証が最大の勧誘となって顕在していると確信します。さて在校生に時折、本校に来てよかったかと聞けば、大方が悔いはない、楽しいと答えてくれます。こうした体験が忘れ得ない思い出となって、更に子息子女、兄弟姉妹の進学を誘うことでしょう。

この素晴らしい学校を一度、訪れてみては如何でしょうか。

# 新学科紹介

-2025年4月 総合科学科開設-

2025年4月、本校は総合科学科を新設します。近年、DXという言葉がよく聞かれるようになりました。ものづくりの世界では、自動運転の乗り物、AIロボットなど完全に自動で動く製品や、スマート家電などインターネットに接続して遠隔操作できたり、持ち主の好みや状況に合わせて動作を提案してくれたりする製品が出てきました。ビジネスの世界では、ネットで購入する際、AIがお勧めを表示してくれますが、販売会社側にとっても購入履歴や性別・年齢などの情報から商品開発に役立てることができ、両者に利益をもたらしています。会計時、商品をまとめてスキャンするシステムを採用している店舗も増えつつあり、将来はレジを通らなくても良いコンビニなどが一般的になるかもしれません。

こういった技術により、少子化による人員不足を解消し、単純作業や分析は機械に任せ、人は創造的な活動に専念することができるようになります。未来の社会を創造する人材を育成したいという思いから総合科学科の開設を準備してまいりました。

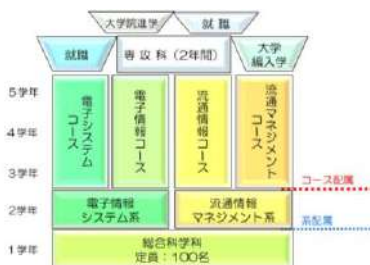
## ●総合科学科が目指す人材

総合科学科では、最新の情報技術を学んでいく力を持ち、豊富なアイデアを生み出し、実現できる人間力を持ったエンジニアの育成を目指します。このようなエンジニアに必要な、総合科学科で身につけられる4つの能力は以下の通りです。

- ◆多様化した社会に適応できる能力
- ◆自ら学習し、課題を解決できる能力
- ◆幅広い教養とその上に積み上げられた専門知識を活用できる能力
- ◆生じている問題に対して科学的な手法を用いて分析できる能力

## ●総合科学科の「系」と「コース」

情報技術の応用は幅広く、奥が深いため、総合科学科では2年進級時に「系」に、3年進級時に「コース」に分かれ、重点的に学びたい分野を選択します。



総合科学科の「系」と「コース」

### 「電子情報システム系」

情報技術で未来のものづくりを支えるエンジニアを育成します。

- ・電子システムコース:DX社会における製品の製造・開発・機器の管理に携わるエンジニアを目指します。
- ・電子情報コース:DX社会におけるものづくりに関連する情報システムの開発・管理に携わるエンジニアを目指します。

### 「流通情報マネジメント系」

情報技術で新たなビジネス・社会システムを創造する人材を育成します。

- ・流通マネジメントコース:流通、物流、ビジネスを学び、新たな社会の仕組みを考える力を身につけます。
- ・流通情報コース:新たなビジネスや社会の仕組みに活かせる情報システムの開発・管理に携わるエンジニアを目指します。

教職員一同、より良い学科を作りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



# 教務主事報告

教務主事 河村 義顕

## ●機関別認証評価の受審

認証評価制度は、学校教育法に基づいて、国公私全ての大学、短期大学、高等専門学校に対して、定期的に文部科学大臣の認証を受けた評価機関による第三者評価を受けることを義務付けるものです。

評価はモデルコアカリキュラム(高専教育で定められている技術者が備えるべき能力水準と資質)に示される到達目標に基づく本校の教育研究活動の質保証と、これを確実にするための教学マネジメントがPDCAサイクルにより確立されているかという観点でされます。また、これらの評価結果を公表することで、本校の教育研究活動等について社会的に評価を受け、継続的な改善を図ることを目的としています。

この評価は7年以内に審査を受ける必要がありますが、審査は当該年の状況だけでなく、前回の評価において指摘された事項の改善状況を含め、教育の内部質保証システムが適切に運用されているか、学生の学校生活や自主的学習の支援体制及び運用状況、財務基盤及び管理運営状況、学科で設定した学習教育目標に対する教育課程の整合性、教育方法及び成績評価の適合性、学生受け入れにかかる方針と実効性等、様々な基準・観点から評価されます。

今年度は7～8月に書面審査、11月に訪問調査があり、現在は評価結果を待っている状態です。この機関別認証評価を通して、本校の教育研究活動について、組織的な運用の拡充、授業内容及び評価基準の適正化、成績評価の厳格性について見直し、学修者である学生本位の教育に努めてまいります。

## ●大学・高専機能強化支援事業に伴う学科改組

大学・高専機能強化支援事業(成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金による継続的支援)が本年度の夏ごろに正式に認定されました。当事業はデジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成のために学科改組や定員増による機能強化への支援を行うものです。

本校はDX・GX社会において活躍できる情報技術やその応用力を身につけ、電子・電気工学、機械工学あるいは流通・経営分野の専門知識とこれら分野に応用する管理工学などの専門的技術を有する技術者の育成するため、電子制御工学科と流通情報工学科を統合した総合科学科を設置し、商船学科と合わせて2学科に学科改組をします。総合科学科は2年進級時で電子情報システム系または流通情報マネジメント系のどちらかを選択し、3年進級時に電子情報システム系は電子システムコースまたは電子情報コース、流通マネジメント系は流通マネジメントコースまたは流通情報コースを選択するカリキュラムになっております。

カリキュラムの特色として、全学科に数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎)を導入するとともに、イノベーションスタート、無人航空機、モビリティサイバーセキュリティ、海洋利用運用、半導体デバイス・プロセス技術といった新分野を展開するため、授業や実習内容の設備の拡充を継続的に進めています。

# 学生主事報告

学生主事 朝倉 和

## ①新入生オリエンテーション

今年度は、4月8日～11日の日程で、国立山口徳地青少年自然の家で新入生オリエンテーションを行いました。近年は校外でオリエンテーションを実施する高専も少なくなりつつありますが、昨年度同様、学生会やクラブ代表者から成る、ピアサポーター(上級生)が同行してくれたので、充実した内容で、日程を終えることができました。

## ②高専体育大会

6月末～7月にかけて、中国地区高専体育大会が開催されました。今年度は卓球部・陸上競技部・水泳部・ソフトテニス部・剣道部が、北海道地区で行われる全国高専体育大会出場の切符を掴みました。全国大会では、今回も卓球競技・女子ダブルスの部で、D5秋田紅葉さん、西原実夢さんのペアが優勝を飾り、これで3大会優勝したことになるので、特別表彰の栄誉を受けました。

## ③全国商船高専漕艇大会

7月14日、15日に全国商船高専漕艇大会が、富山商船で開催されました。本校は、AチームBチームとも快漕し、見事アベック優勝の快挙を果たすことができました。

## ④警察講話(予防教育)

7月～8月にかけて、機構から推奨されていることもあり、予防教育の一環として、警察を招いて、以下のような題目で講義をしていただきました。(昨年度から実施)

・「SNS上のトラブル(いじめ・ハラスメント・盗撮・消費者トラブル等)」

(対象:1年生)

・「交通安全について」(対象:3年生)

・「薬物について」(対象:2年生)

また、3年生に行った学生主事講話において、警察から最新のDVDを拝借して、「闇バイト」にも言及しました。

## ⑤学生と教職員との懇談会

学生が主導し、学校の教育環境、課外活動環境、寮生活環境等に関して、学生にとって風通しの良い学校環境を作ることを目指して、今年度から学生会が中心となり、学生の意見を収集・整理し、教職員(校長・副校長・事務部長・総務課長・学生課長)に直接意見を述べ、建設的な意見交換をする場を持ちました。



懇談会の様子

## ⑥ロボコン

9月29日に、高専ロボコン2024 中国地区大会が津山市総合体育館で開催されました。本校Aチーム(チーム名:fly away)、Bチーム(チーム名:徒手空拳)とも特別賞を受賞しました。

## ⑦商船祭

10月26日27日に第47回商船祭を開催しました。今回のテーマは「一期一縁」、一生の中で一度だけかも知れない出合いを大切にしようという思いが込められているようです。

久方ぶりのヤユヨによる熱いゲストライブ、模擬店、イベントとも賑わいを見せ、学内学外の人を問わず、大変楽しんでいただけたようです。

# 寮務主事報告

-若潮寮の現状について-

寮務主事 濱田 朋起

今年度の若潮寮は、1年生104名(男子81名、女子23名)、留学生2名(男子1名、女子1名)の新入寮生を迎え入れ、全寮生数は431名となりました。

## ◇学寮生活について

若潮寮では、少しでも過ごしやすい寮生活を送ることができるよう、日課や規則などについて見直しおよび変更を随時行っています。

今年度の大きな変更点としては、門限を一部変更致しました。これまでは、平日・休日に関わらず門限を20時としていました。しかしながら、寮生から門限を延長して欲しいと要望があり、保護者のみなさまからのご同意のもと、土・日・祝日のみ、門限を21時30分に変更致しました。それに伴い、女子寮の日課も若干変更致しました。

寮生および保護者のみなさまから寄せられる寮生活に関する要望につきましては、できる限りお応えできるよう改善および検討しているところではありますが、受け入れ難い要望が多いのが現状です。多くの学生が共同生活を送っている学生寮を運営するためには、ときには厳しい規則を新たに設けたり、罰則を科す場合もございますが、より良い学生寮となるよう、寮務主事室が中心となって、これからも寮生活の見直しおよび改善を図りながら運営を行って参ります。

学生および保護者のみなさまにおかれましては、今後も学生寮の運営につきまして、引き続きご理解のほどよろしくお願い致します。

## ◇寮内イベント

今年度も寮生会が中心となって、学生寮内でイベントを企画してくれました。

8月上旬に、夏祭りイベントとしてかき氷・わたあめ大会を実施し、寮生全員に猛暑の中の涼しいひとときを提供してくれました。また12月下旬には、クリスマスイベントとして抽選会を実施し、抽選により当たった寮生には商品を、抽選にはずれた寮生にも参加賞として全員にさきやかなクリスマスプレゼントを用意してくれました。さらに、寮生会が中心となって閉寮前に全寮生で大掃除を実施し、普段掃除でできない箇所を含めて、寮内をきれいにしてくれました。

学生の立場から、より良い学生寮となるよう寮内の生活指導など日々活動している寮生会には、寮務主事室として今後も期待しているところです。



クリスマスイベントの様子



大掃除で使用する掃除道具の準備

## 学生相談室報告

高専の学生は、15歳から22歳までの青春期の多感な年齢の学生です。学生たちの様々な悩みや相談に応じるために、学生相談室を開設しています。

学生相談室のスタッフは、学生相談室長、相談員(教員)6名、看護師 2名、非常勤カウンセラー(臨床心理士)2名、スクールソーシャルワーカー 1名の計12名で構成されています。誰でも気軽に利用できる体制をとっており、特に悩みがなくても、医務室に立ち寄って話を聞いたり聞いてもらったりと、心のバランスを保つために学生相談室を利用する学生は増えています。

さて、令和6年度の学生相談室の取り組みを以下に紹介します。

3~4月	合理的配慮検討委員会
5月	学生相談室だより
	心と体の健康調査
6月	いじめに関するアンケート
8月	いじめに関するアンケート(保護者用)
10月	いじめに関するアンケート
12月	心と体の健康調査
1月	学生生活アンケート

「いじめに関するアンケート」や「こころと体の健康調査」を1年の間に複数回実施することにより、学生の心と体の健康を見守っています。自分自身では気付かない心のストレスを早期に発見すると共に、担任の先生をはじめ、学校全体で早期に解決できる手助けができるよう努めています。

それと同時に、全教職員のいじめ防止に関する理解が確実に定着するよう、積極的な取り組みも進めています。いじめ定義の周知、学校いじめ対策委員会の年間計画策定、いじめ防止プログラムや早期発見・事案対処マニュアルの周知、いじめに関する

研修の実施など、本校だけでなく、高専全体として取り組みが進められています。

### いじめの定義

～いじめ防止対策推進法第一章 総則 第二条～

いじめとは、学生に対して、当該学生が本校に在籍している等当該学生と一定の人的関係にある他の学生が行う心理的または物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった学生が心身の苦痛を感じているものをいう。

さて、左記スケジュールにある通り、1月から「いじめに関するアンケート」が「学生生活アンケート」になり、設問が大幅に更新されました。(設問のうちから例を2つ)

【1】あなたは、現在、困っていること、悩んでいることはありますか。

【2】あなたは、昨年の12月から今日まで、周囲の人との関係において、嫌な思い、辛い思い、痛い思いをしたことがありますか。

それぞれ「はい」と回答すれば、いつ、どこで、どのような、と詳しく聞いていく形式となっており、学生が回答しやすく、かつ実態を把握しやすい内容に改善されました。

今後も様々な取り組みを継続し、すべての学生が安心して学校生活・寮生活を送れるよう、全力でサポートしていきます。

## クラブ活動報告

### 陸上競技部

陸上競技部の今年度の活動について報告させていただきます。1年間で計17の大会へ出場をし、1年生から5年生まで幅広い学年がそれぞれの目標に向かって活動してきました。7月に行われた中国地区高専大会へは31名が出場し、そのうち10名が全国大会への出場権を獲得しました（4年連続で全国大会への出場権を獲得した5年生が3名（2020年度は新型コロナウイルス流行のため中止）、初めての1年生が1名など）。そして9月、北海道釧路市で行われた全国高専大会では、女子100mで流通1年永田翠さんが8位入賞、女子円盤投げでは商船3年富永凜子さんが3位入賞、商船5年富永一葉さんが8位入賞を果たしました。しかし、男子学生で入賞できた学生はおらず、さらに練習を積み全国区でのさらなる活躍を目指しています。

部内では学生には記録や結果を残すことだけでなく、人としての成長が求められ、陸上競技部の運営や活動の多くを学生に委ねられています。多くの方に支えられて活動を続けることができていることを忘れず、これからも今まで通り学生主体で学生が成長を実感できる活動を続けて参ります。

### 電子計算機研究会

私たちは、全国高等専門学校プログラミングコンテスト(プロコン)に向けて、AI画像認識を行うPOSレジの開発を行いました。このプロジェクトは、夏季休暇が始まる少し前から本格的にスタートし、夏休み期間中はほぼ毎日学校に通いながら改良を重ねました。大会が近づくにつれ、開発はますます加速し、本番1週間前には学校の授業時間も開発に充てるほどの熱意で取り組みました。

迎えた本番。しかし、初日は思いもよらぬトラブルに見舞われました。会場の環境が想定と異なり、AI画像認識が正常に動作しなかったのです。突然の課題に直面しましたが、私たちは決してあきらめませんでした。夜遅くまで原因究明と修正を続け、最終的には深夜3時までかかって問題を解決。迎えた2日目には、無事にシステムを動作させることができました。

私たちが特にこだわったのは、システムのUIデザインです。使いやすさと視認性を重視し、細部まで調整を重ねました。その結果、審査員の方々から「UIが非常に優れている」という評価をいただき、努力が結ばれた瞬間でありました。そして、なんとDMM.com企業賞を受賞！名前が呼ばれた瞬間、チーム全員で顔を見合わせ、飛び跳ねるほど喜びました。長期間の開発と、数々の困難を乗り越えた努力が認められたことに、達成感と感動で胸がいっぱいになりました。この経験を通じて、私たちは技術的な知識だけでなく、チームワークの大切さ、困難に立ち向かう粘り強さ、そして柔軟な対応力を身につけることができました。大会の結果以上に、この挑戦の過程が私たちにとって大きな財産となったのです。

このような大会の経験に興味がある方は、ぜひ電子計算機研究会へ来てください。



陸上競技部 全国高専大会（釧路）



電子計算機研究会 プロコン受賞



# クラブ活動等の大会報告 (一部抜粋)

## ●第60回中国地区高等専門学校体育大会 成績一覧

競技	開催日	種目	成績	クラス	氏名
卓球	令和6年 7月5日(金)~7日(日)	男子団体	2位		
		女子団体	2位		
		男子個人戦 (シングルス)	3位	電子5年	近石 航春
		男子個人戦 (ダブルス)	3位	電子5年 商船3年	近石 航春 濱本 智也
		女子個人戦 (シングルス)	2位	流通5年	秋田 紅葉
		女子個人戦 (ダブルス)	2位	流通5年 流通5年	秋田 紅葉 西原 実夢
陸上競技	令和6年 7月5日(金)・6日(土)	男子800m	2位	電子4年	宮崎 智也
		男子1500m	1位	電子4年	宮崎 智也
		男子走幅跳	3位	流通5年	武田 耀
		男子砲丸投	3位	流通5年	中村 洸太
		男子円盤投	3位	商船5年	稲田 駿登
		男子やり投	3位	商船5年	稲田 駿登
		女子100m	2位	流通1年	永田 翠
			3位	商船5年	大野 紗来
		女子200m	2位	流通1年	永田 翠
			3位	商船5年	大野 紗来
		女子走り幅跳び	3位	流通1年	大下 莉奈
水泳	令和6年 7月14日(日)・15日(月)	男子200mバタフライ	3位	商船5年	梶原 良太
		男子100m平泳ぎ	3位	商船2年	山本 大成
		男子200m平泳ぎ	2位	商船2年	山本 大成
		男子800m自由形	3位	商船1年	高橋 左京
		女子100m平泳ぎ	2位	商船5年	大野 紗来
		女子団体 (フリーリレー4×50)	3位		
ソフトテニス	令和6年 7月5日(金)~7日(日)	男子個人戦 (ダブルス)	1位	流通3年 商船4年	伊原 快晴 原井 陽希
剣道	令和6年 7月5日(金)~7日(日)	男子団体	3位		
		女子個人戦	1位	流通5年	祐本 菜々美
テニス	令和6年 7月5日(金)~7日(日)	女子個人戦 (ダブルス)	3位	商船5年	三宅 那実
				流通3年	佐伯 優芽
柔道	令和6年 7月5日(金)・6日(土)	男子81kg級	3位	商船3年	大賀 賢之



全国高専大会 陸上部集合写真



全国高専大会 ソフトテニス部集合写真

## クラブ活動等の大会報告 (一部抜粋)

### ●第59回全国高等専門学校体育大会 成績一覧

競技	開催日	種目	成績	クラス	氏名
卓球	令和6年 8月31日(土)・9月1日(日)	男子団体	3位		
		女子個人戦 (シングルス)	2位	流通5年	秋田 紅葉
		女子個人戦 (ダブルス)	1位	流通5年 流通5年	秋田 紅葉 西原 実夢
陸上 競技	令和6年 9月7日(土)・8日(日)	男子800m	—	電子4年	宮崎 智也
		男子1500m	—	電子4年	宮崎 智也
		男子3000mSC	—	電子5年	上野 悠斗
		男子走幅跳	—	商船2年	川迫 洸貴
		男子円盤投	—	商船5年	吉村 凌瑛
		男子やり投	—	商船5年	稲田 駿登
		女子100m	8位	流通1年	永田 翠
		女子200m	—	流通1年	永田 翠
		女子円盤投	3位	商船5年	大野 紗来
			8位	商船5年	富永 凛子 富永 一葉
水泳	令和6年 8月31日(土)・9月1日(日)	男子200mバタフライ	予選13位	商船5年	梶原 良太
		男子100m平泳ぎ	予選14位	商船2年	山本 大成
		男子200m平泳ぎ	予選12位	商船2年	山本 大成
		男子400m自由形	タイムレース 決勝18位	電子1年	吉野 友稀
		男子800m自由形	タイムレース 決勝17位	商船1年	高橋 左京
		女子100m平泳ぎ	予選10位	商船5年	大野 紗来
ソフト テニス	令和6年 8月27日(火)・28日(水)	男子個人戦 (ダブルス)	ベスト16	流通3年	伊原 快晴
				商船4年	原井 陽希
剣道	令和6年 9月7日(土)・8日(日)	男子個人戦	ベスト31	商船3年	柴野 朔
		女子個人戦	ベスト8	流通5年	祐本 菜々美



全国高専大会 卓球部集合写真



全国高専大会 剣道部  
(左から祐本学生・柴野学生・朝倉顧問)

## クラブ活動等の大会報告 (一部抜粋)

### ●第50回瀬戸内商船高等専門学校2校定期戦

期日:令和6年6月15日(土)

種 目	広島会場				
	○	2	—	1	×
剣道	○	2	—	1	×
水泳	○	48	—	35	×
バドミントン(男子)	×	1	—	2	○
バドミントン(女子)	×	0	—	3	○
ソフトテニス	○	5	—	0	×

種 目	弓削会場				
	○	15	—	4	×
硬式野球	○	15	—	4	×
サッカー	×	1	—	2	○
卓 球	○	7	—	3	×
バスケットボール(男子)	○	61	—	53	×
バスケットボール(女子)	×	17	—	48	○
柔 道	○	2	—	1	×

### ●第59回全国商船高等専門学校漕艇大会

期日:令和6年7月14日(日)・15日(月・祝)

会場:富山高等専門学校

Aチーム 優勝(8' 47" 58)

Bチーム 優勝(9' 17" 19)



全国漕艇大会優勝後の集合写真 (校長先生と漕艇部)

### ●第39回瀬戸内商船高等専門学校漕艇大会

期日:令和6年11月4日(月)

会場:広島商船高等専門学校

Aチーム 優勝(10' 03" 90)



本校棧橋にて白熱のレースを繰り上げるAチーム

### ●アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2024

【中国地区大会】

期日:令和6年9月29日(日)

会場:岡山県津山総合体育館

Aチーム【fly away】特別賞(田中貴金属グループ)

電子3年 松浦 秀直

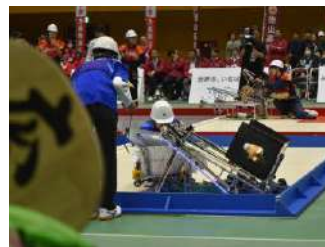
電子4年 山下 響生

電子3年 田部 裕飛

Bチーム【徒手空拳】特別賞(株式会社安川電機)

流通2年 坂口 拓海

電子2年 井上 心論



ロボコン中国地区大会、競技中のAチーム



SES同好会集合写真 (AチームとBチーム)

## 在学生表彰

令和6年度課外活動等における本校功労賞受賞者・受賞団体（前期）

●功労賞

大会名等	種目等	成績	クラス	氏名	日付
第77回広島県高等学校 総合体育大会 尾三地区予選	卓球団体(女子)	優勝			4月13日
	剣道団体(男子)	優勝			4月27日
	剣道個人(男子)	優勝	商船3年	宮本 圭史郎	
第73回広島県高等学校 卓球選手権大会 尾三地区予選(県総体予選)	卓球シングルス(男子)	優勝	商船3年	濱本 智也	4月20日
	卓球ダブルス(男子)	優勝	商船3年 商船1年	濱本 智也 瀧口 琉斗	
	卓球シングルス(女子)	優勝	商船2年	秋田 若葉	
	卓球ダブルス(女子)	優勝	商船2年 電子1年	秋田 若葉 吉村 しおか	
第71回中国高等学校 卓球選手権大会	卓球シングルス(男子)	出場	商船3年	濱本 智也	6月15日
第70回中国高等学校 剣道選手権大会	剣道個人(男子)	出場	商船3年	宮本 圭史郎	6月16日
第60回中国地区高専 体育大会	剣道個人(女子)	優勝	流通5年	祐本 菜々美	7月6日
	ソフトテニス個人(男子)	優勝	商船4年 流通3年	原井 陽希 伊原 快晴	
	陸上(1500m)	優勝	電子4年	宮崎 智也	
第59回全国商船高等専門学校 漕艇大会	漕艇	優勝			7月15日
第58回全国高等専門学校 体育大会	卓球ダブルス(女子)	優勝	流通5年 流通5年	秋田 紅葉 西原 実夢	8月31日

# 卒業生受賞者

## ●令和5年度

### 1. 学外

電気・情報関連学会中国支部

学科名	氏名
電子制御工学科	多田 浩基
流通情報工学科	手良脇 虎成

### 2. 学内

功劳賞（学生会活動）

学科名	氏名
電子制御工学科	坂本 まひる

功劳賞（寮生会活動）

学科名	氏名
電子制御工学科	柿野 礼緒
流通情報工学科	上迫 すず

功劳賞（課外活動）

学科名	氏名
電子制御工学科	浅野 環斗
流通情報工学科	面田 莉奈

功劳賞（その他活動）

学科名	氏名
電子制御工学科	坂本 まひる
電子制御工学科	村山 佑志
流通情報工学科	奈良 明希
流通情報工学科	行友 光葵
産業システム工学専攻	横山 夏樹

皆勤賞

学科名	氏名
電子制御工学科	中村 真碧
電子制御工学科	西宮 武史
電子制御工学科	HIZKIA AGRAHANTITAMA BUDIMAN
流通情報工学科	安部 風輝
流通情報工学科	奥 秋水
流通情報工学科	佐伯 紅葉
流通情報工学科	堀田 大清

精励賞

学科名	氏名
流通情報工学科	高原 莉里花
流通情報工学科	平本 彩
流通情報工学科	柚木 颯太

## ●令和6年度

### 1. 学外

一般社団法人 全日本船舶職員協会

学科名	氏名
商船学科航海コース	近藤 十希
商船学科機関コース	伊藤 裕真

公益財団法人 海技教育財団

学科名	氏名
商船学科航海コース	小田 袈方
商船学科機関コース	宮川 拳輔

公益社団法人 日本航海学会

学科名	氏名
商船学科航海コース	野元 梨乃
商船学科航海コース	中山 貫

公益社団法人 日本マリンエンジニアリング学会

学科名	氏名
商船学科機関コース	嶋津 朋子

### 2. 学内

功劳賞（寮生会活動）

学科名	氏名
商船学科機関コース	藤本 真射斗
商船学科機関コース	宮川 拳輔

功劳賞（課外活動）

学科名	氏名
商船学科航海コース	佐藤 響

皆勤賞

学科名	氏名
商船学科航海コース	岡林 慧
商船学科航海コース	野元 梨乃
商船学科航海コース	宮本 航大
商船学科機関コース	嶋津 朋子
商船学科機関コース	宮川 拳輔

## 学生会活動

学生会長 日熊 くるみ

今年度は、「広島商船に通う毎日を思い出に」という目標を掲げ、活動して参りました。  
 学校で過ごす時間が、今まで以上に楽しく、より充実した特別なものとなるように、季節に合わせたイベントを増やし、新たな取り組みも行いました。

4月	新入生オリエンテーション
6月	前期クラスマッチ
7月	七タイイベント
	フォトコンテスト
8月	ウォーターサバゲー
	教職員との懇談会
10月	商船祭
12月	後期クラスマッチ
	クリスマスイベント
1月	フォトコンテスト
2月	バレンタインイベント

### ◆クラスマッチ

前期・後期1回ずつ開催することができました。サッカー・ソフトボール・バスケ・ドッジボール・リレー・モルック・カードゲーム・借り物競争などを行いました。



恒例の綱引きでは、今年度は校長先生率いる先生チームにも参加していただき、大盛り上がりでした！



### ◆新入生オリエンテーション

昨年度同様、学生会執行部と各クラブの代表者がピアサポーターとして新入生オリエンテーションに参加しました。新入生とのオリエンティングやレクリエーションを通して新入生との交流を深め、リーダーとしてのスキルを身につけることができました。上級生同士も打ち解け合い、充実した3日間を過ごすことができました。

ピアサポーターは、オリエンテーション以降もそれぞれが定期的に相談会や勉強会を行いました。



## 学生会活動

### ◆ウォーターサバゲー

前期の最後には、ウォーターサバゲーを開催しました。5人1組で、20を超えるチームが出場しました。



初の試みでしたが、1年生から5年生までに参加していただき、夏の思い出になる楽しいイベントにすることができました。

### ◆教職員との懇談会

学校生活の中で、学生が抱えている問題点を先生方と共有する場として、懇談会を開催しました。学校・寮の設備や、授業内容・カリキュラムなどに関してどんなに些細なことでも、学生から寄せられた意見について先生方と議論を深めました。学生の声が届く風通しのよい環境づくりに繋げることができたと感じています。

### ◆クリスマスイベント

12月には、学校と100段階段にイルミネーションを飾り付けました。フォトスポットの設置とチェキの撮影も行い、多くの学生が見に来てくれました。クリスマスムードに包まれて素敵なイベントになりました。

学生会は、5つの局から構成され、紹介した活動以外にも、毎朝の駐輪場整理や学校付近の清掃ボランティアなども行っています。

文化局	各季節イベントの企画・運営
体育局	クラスマッチの企画・運営
広報局	フォトコンテスト・SNSの運営
自治局	校内の美化
会計局	学生会の予算調整



### ◆おわりに

私は、広島商船の明るく自由な校風が大好きです。学校で過ごす毎日が思い出に残るように、1人でも多くの学生が学校生活をさらに楽しく送ることができるように、学生会活動の活性化を目標に、学生会長として1年間活動させていただきました。また、学校説明会などで中学生に学校をアピールする機会をいただき、「学外にまで広島商船の魅力を発信する」という私のもう一つの目標も達成できたと感じています。

学生会活動に協力・参加してくださった学生の皆様、多方面でサポートしてくださった教職員の皆様に心より感謝申し上げます。

## 商船祭



### 実行委員長挨拶



第47回商船祭実行委員長を務めさせていただきました、電子制御工学科4年の栗栖です。初めに、今年の商船祭が無事に終わりを迎えることができたことに、心より感謝申し上げます。この商船祭を成功させるために尽力してくださった実行委員の皆さん、学生だけではできないことなど積極的に助けて下さった先生方、そしてご協力いただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。このような素晴らしいイベントを開催できたのは、皆様の支えがあってこそだと心から感じています。

今年の商船祭のテーマである「一期一縁」には、一生涯に一度会うかわからない出会いを大切にしようという思いが込められています。皆さんは、このテーマをどのように感じ、どのように受け止めたでしょうか？商船祭を通じて、新たに話すきっかけが生まれた人、より仲良くなれた人、そして初めて顔を合わせた人もいるかと思います。そのすべての出会いは偶然ではなく、何かしらの縁によって繋がった大切なものです。この縁が、今後の学校生活やその先の人生の中で、大きな支えや力になっていくことを願っています。

また、今回の商船祭を準備するにあたり、たくさんの困難や課題に直面した場面もありました。企画や運営に携わった実行委員一人ひとりが、それぞれの立場で責任を果たし、工夫を凝らしながら取り組む姿を見て、私自身、多くのことを学ぶことができました。「どうしたら皆が楽しめるか」「どのようにしたら

円滑に進むか」といった課題に対して、意見を出し合い、何度も話し合いを重ね、力を合わせて一つひとつ乗り越えていく中で、チームとしての結束力を強く感じました。そして、本番当日の皆さんの活躍を目の当たりにし、全力で楽しむ姿や、来場者の方々の笑顔を見るたびに、これまでの努力が実を結んだことを実感し、大きな達成感を味わうことができました。



商船祭は2日で終わるイベントですが、ここで得た経験や出会い、そして皆さんと共有した時間は、決して消えることのない思い出として心に残り続けます。そして、この経験が、今後の自分たちの成長につながる大切な糧になると思っています。皆さんがこの商船祭で得た縁を、これからも大切に、さらに広げていってほしいと願っています。

最後になりますが、この商船祭を支えてくださったすべての皆様に、改めて感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。本当にありがとうございました。そして、実行委員の皆さん、最後までやり切ったその頑張りに、心から拍手を送りたいと思います。皆さん、本当にお疲れさまでした！



## 商船祭

### イベントリーダー挨拶

第47回商船祭イベント係トップを務めさせていただきました、日熊くるみです。

今年度の商船祭は、メインイベントを例年通りのフィナーレの花火からゲストライブへと変更しました。この変更は、準備段階から大きな挑戦となりました。



準備期間中は、不安や圧力が常に付きまといました。プロのゲストを迎えるという新たな形式のイベントに取り組むのは初めてで、細かな計画を立てるにも多くの悩みがありました。特に、どのようなゲストを迎えるか、その演出やタイミングをどう整えるかについては、実行委員の中で議論を重ねました。

当日、会場には多くの学生や地域の方々にお集まりいただき、想像以上の盛り上がりでした。皆さんの笑顔や楽しんでいる姿を見た瞬間、心から挑戦してよかったと感じました。ライブのエネルギーに満ちた会場の雰囲気は、本当に感動的でした。



準備期間は、気づかないうちにたくさんの人に支えられ、助けられていることを実感した期間でもありました。

最後まで常にサポートして下さった教職員の皆様、忙しい毎日と一緒に駆け抜けてくれた実行委員、素晴らしい商船祭を作り上げて下さった学生の皆さん、本当にありがとうございました。



# 学校の取組(高専高度化推進事業)

— DX導入による志願者確保のための効果的広報手法の探求 —

副校長(総務担当) 岡山 正人

## ◆本事業を行う背景とその目的

近年では、インターネットを使った広報も一般的になり、本校でもホームページはその一翼を担っています。入学者アンケートでも学校を知るのにホームページを活用した者も多く見られます。一方で、入学者への面談では本校学生によるInstagramがきっかけである場合も多く、本校学生によるとホームページよりもInstagramなどの所謂SNSによる情報収集が中心になりつつあることなど、ホームページのみでは限界があるといった意見も見られます。さらに本校は、令和7年度より新学科の「総合科学科」の設置を企画しており、今まで以上に中学校の教員、中学生、その保護者などにより広範に広報する必要があります。

そこで本事業では、本校公式のInstagramを開設し、どのようなコンテンツが中学生の目に留まるかを検証するとともに、オープンスクールの参加者などへの調査から志願者確保の広報としての効果を検証します。

## ◆Instagramの具体的な内容

令和6年9月から令和7年3月までを目処に公式Instagramを開設することとし、この間にリール(動画)、フィード(写真)合わせて約40投稿を目的としています。

内容は、商船祭などの行事や部活、実習、休み時間の学生の様子などできる限り広範な内容とすることで、どの様な投稿が効果的なのかを分析できるように配慮することにしました。

## ◆Instagramを開設してみた

令和6年12月までの結果ではフォロワー数は232人となりました。なお、10月末に実施されたオープンスクールでは参加者の21%が閲覧をしてきていました。

また、“いいね”などの投稿に対する反応の良さを表すエンゲージメント率は、3.63%と他の教育機関のアカウントの平均2.58%より若干高い値を示しており、一定の効果は見られます。特に商船祭など「学校行事」や他の高校で体験できない部活動や実習などでエンゲージメント率が高い傾向があることなどがわかりました。



本校の公式Instagram

本事業では、学校のInstagramの開設という新しい試みを進めています。上記のような知見を得たものの、コンテンツの作成や管理をどうするかなど、まだまだ未知数のところもあります。しかしながら、SNSをはじめインターネットを利用した広報は益々必要性を増してくるものと思います。失敗を恐れず様々なことに挑戦していくことが必要ではないかと思っています。

## 学校の取組(地域貢献活動)

本校では、地域貢献活動を推進することにより、教育支援・生涯学習・高齢者支援・障がい者支援・地域交流・地域人材育成などの事業等、幅広い分野で学生の交流を誘発し、地域の方との協働・交流を通じて、学生の学習意欲の向上に加え、他者理解力、課題解決力、マネジメント力等、社会で活躍するために必要な能力向上に役立てています。

地域等が主催する事業を通じて、地域社会との連携及び支援を推進することで、本校の教育研究の発展に寄与することを目的として地域貢献活動を実施しました。

今年度の学校の地域貢献活動について、主な活動をご紹介します。

### ●尾道体験航海・船上教室を実施

9月28日(土)に、尾道海の日協会(中国運輸局尾道海事事務所)主催の「海の月間」行事の一環として、練習船広島丸による尾道体験航海・船上教室を実施し、小学生26名、中学生7名と保護者等24名が参加しました。

尾道港～尾道水道～向島一周～尾道港までの航海を楽しみながら、救命胴衣着用訓練や操舵・ロープワーク体験などを行いました。参加者からは、「大きな船をそうじゅうするのが楽しかった」、「知らないロープの名前やゴムボートなど、説明がすごくわかりやすくおもしろかったです」といった感想がありました。



体験航海・船上教室

### ●恵美須神社秋季大祭の權伝馬に参加

10月6日(日)、大崎上島町沖浦地区で行われた恵美須神社秋季大祭の權伝馬(かいでんま)に、学生20名が参加しました。權伝馬とは、片舷7人ずつ14人の漕手により、船尾部の太鼓に合わせて權を合わせ、操船する手漕ぎの和船のことです。

地域の大祭に学生が参加し、權伝馬の漕手等の

一役を担う活動を通じて、学生の地域の伝統行事に対する理解・地域住民との交流につなげることができました。



恵美須神社秋季大祭の様子

### ●「第13回大崎上島町ふくしのまちづくりのつどい」に吹奏楽部が出演

11月3日(日)に大崎上島文化センター「ホール神峰」にて開催された「第13回大崎上島町ふくしのまちづくりのつどい」のオープニングセレモニーに、吹奏楽部5名が出演しました。

部員自身で選定した様々なジャンルの曲5曲を演奏し、多数の出席者にお聞きいただきました。部員たちは息の合った演奏を披露し、日ごろの練習の成果を発揮できました。



ふくしまちづくりのつどい

## 学校の取組(地域貢献活動)

### ●小学生向けプログラミング教室を実施

11月14日(木)、大崎上島町内小学校の5年生を対象に「大崎上島町プログラミング教室」を実施しました。流通情報工学科・加藤博明教授が「お絵かきプログラムを作ろう」と題して小学生に講義を行いました。本事業は、大崎上島町教育委員会からの依頼により行われているものです。

小学生たちは、加藤教授や学生の指導を受けながら、プログラムを少しずつ変更させて円の色を変えたり、円をたくさん描いたりしてプログラミングの基礎を学びました。その後、学んだプログラムを応用し、パソコンで思い思いの絵を描きました。学生との交流もあり、楽しみながらプログラミングを学ぶ機会となりました。



プログラミング教室

### ●広島丸体験航海・一般公開を実施

12月7日(土)・8日(日)、広島県呉市にて、呉海事振興会及び広島県内航海運組合呉支部主催で練習船広島丸の体験航海・一般公開を実施しました。初日、大和ミュージアムにて日本内航海運組合総連合会による海洋教室を実施後、広島丸に乗船いただき、体験航海を行いました。参加者からは「そうじゅうをしたのがたのしかったです」、「普段見られないものばかりで貴重な経験になりました」といった感想がありました。

翌日は大和波止場に停泊中の練習船「広島丸」を一般公開しました。約300名の方に足を運んでいただ

き、船橋見学や機関室見学をはじめ、船についての説明などを行いました。



呉体験航海・一般公開

### ●「広島商船高専陸上教室」を開催

12月15日(日)に、広島商船高等専門学校産業振興交流会の助成及び大崎上島町の後援により、陸上教室を開催しました。

特別講師として、陸上競技女子100mハードルで活躍中のエディオン女子陸上競技部の芝田愛花選手が来校し、「新シーズンに向けて取り組んでおくべきこと」をテーマとして、講演及び実技指導を1日たっぷり実施していただきました。

子どもから大人まで幅広い世代の方が参加され、芝田選手との貴重な時間を過ごすことができました。

これからも大崎上島のスポーツ振興に貢献できるよう努めてまいります。



陸上教室の様子

# ニュースダイジェスト

## ◇入学式を挙

4月7日(日)、穏やかな春の陽気の下、商船学科44名、電子制御工学科44名、流通情報工学科44名、留学生2名、専攻科産業システム工学専攻2名が入学しました。

逸見校長からは「学び舎で躊躇なく様々なことを学び、体験し、試行錯誤しつつも挑戦を忘れずに成長してもらいたい」と式辞があり、流通情報工学科 田中さんが新入生総代として宣誓を行いました。また、大崎上島町長 谷川 正芳 氏の祝辞に引き続き、日熊学生会長の「自分の興味があることをたくさん見つけ、チャレンジし、充実した学生生活にしていきたい」と歓迎の挨拶がありました。



## ◇卒業証書・修了証書授与式を挙

9月23日(月)、本校第二体育館にて卒業証書・修了証書授与式を挙りました。

商船学科航海コース23名、機関コース19名、専攻科海事システム工学専攻3名への授与が行われ、在校生からは「私たちが先輩方の後に続き、後輩の手本となれるよう努めてまいります」との送辞が、卒業生からは「どうか卒業するまでの残りの学校生活を、悔いのないよう楽しんでください。そして、仲間を大切にしてください。」との答辞がありました。

式の最後には乗船服に身を包んだ卒業生が登壇礼(伝統のお別れの挨拶。「ごきげんよう」と叫んだあと帽子を投げ上げる)を実施し、来賓や保護者に見送られ、学舎を巣立っていきました。



## ◇商船学科公開講座

6月22日(土)、小・中学生を対象とした「商船学科公開講座～あつまれ船長・機関長！2024～」を開講しました。県内外の小・中学生31名と保護者21名が参加しました。

練習船広島丸に乗船し、エンジン始動見学、航海、操舵、防災教育を体験しました。受講者は、各日課に真剣に取り組む、海や船への関心を深める機会となりました。



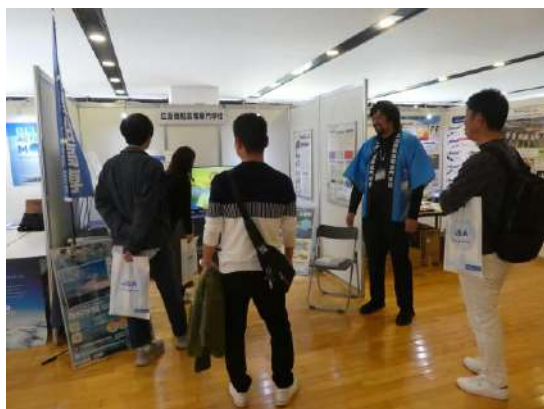
# ニュースダイジェスト

## ◇「海洋文化都市くれ海博2024」に出展

11月10日(日)に大和ミュージアム等で開催された、呉市・広島大学Town&Gown構想「海洋文化都市くれ海博2024」にブース出展しました。

全国から集まった商船系・情報系学生が練習船広島丸で実践的に行った、海事サイバーセキュリティセミナーの取組みをはじめ、自律航行船やドローンを用いた研究事例について紹介しました。

また、同時開催された「第93回海洋教育フォーラム(広島)」では、商船学科5年の岡本学生が「芸予諸島における海事史の継承を目指す郷土学習の試み」と題して研究発表を行いました。



## ◇教員研究紹介パネルをリニューアル

12月23日(月)に教員研究紹介パネルをリニューアルしました。本取組は本校の研究活動を来校者にさらにアピールすることを目的に、研究交流・地域連携センターの取組として実施しました。各研究とも見る方の知的好奇心を刺激する内容となっております。各教員の研究内容の充実により、今後の外部資金獲得につながることを期待しています。今後も展示を充実させていく予定ですので、本校に来校された際は是非ご覧ください。

## ◇ボランティア清掃

12月12日(木)、ボランティアの学生と教職員でフレスタ横道路周辺の清掃活動を行いました。

学生たちは想像以上にポイ捨てされているゴミに驚きながらも熱心に清掃活動に取り組み、多くのゴミを回収していました。

今回の清掃活動は、学生たちにとって学生生活やゴミの問題について考える非常に良い機会となりました。

地域のみなさまに愛される学校を目指し、これからも様々な活動を行っていきたいと思います。



## 国際交流室活動

国際交流室では、グローバル・エンジニアとして世界を舞台に活躍することを目指し、コミュニケーション能力と異文化に対応できる柔軟な受容力を伸ばすための、さまざまな機会を提供しています。

本年度の国内の活動としては、中国地区の高専と協働した国際交流活動へ参加があります。今年度は10月に津山高専主催で開催された「グローバルリーダー育成塾2024」や12月に呉高専主催で開催された「アジアDAY」に日本人学生とともに、留学生も参加しました。さらに、11月には本校留学生を対象にした社会見学(鳥取砂丘など)、12月には留学生とクリスマスを祝う学生交流会を実施しました。これらの交流では日本語とともに、部分的に英語での交流も含まれており、日本人学生が日本について英語で語るなど、異文化を楽しみつつ、英語の実践など、多様な経験を重ねられる実り多い機会となっています。



12月の本校での学生交流会の様子

海外の活動では、9月に学術交流協定校であるフィリピンのエミリオ・アギナルド大学にて2週間の語学研修を行いました。フィリピンの同校大学生と語学パートナーを組み、授業のほかに、路上インタビュー、日本文化紹介などの課題に挑戦したり、フィリピンの伝統料理やゲームなどを体験しました。

また、昨年度と同様に3月には宇部高専が主管で実施する韓国永進専門大学英语村での海外語学

研修(2週間)や、異文化理解を深めるための台湾での海外研修旅行(昨年度はマレーシアで実施/2泊3日)も予定しています。



日本語の数字の教え方を教える  
- フィリピン・語学研修 -



モスク(イスラム教の礼拝堂)の見学  
- 令和5年度・マレーシア・海外研修旅行 -

これらの活動の他には、高専の団体受講を通し、廉価に参加できるDMMオンライン英会話(毎日オンラインで25分間の英会話)も提供しており、学生の語学力の向上に向けた支援も行っています。



## 新任教員紹介



一般教科  
講師  
松本 茂

令和6年4月1日付けで一般教科(保健体育・スポーツ)に着任しました、松本茂と申します。

広島県尾道市に生まれ、大学卒業までは陸上競技、特に短距離に没頭しながら東広島市や福山市で過ごしました。大学卒業後は名古屋のパーソナルトレーニングジムでトレーナーとして4年活動し、身体機能や解剖学、動作分析を学んで参りました。

その後、様々な方との出会いから、身体を育てるだけでなく、「人を育てる」ことに魅力を感じ、広島大学大学院にて修士号(教育)を取得しました。前任校の広島大学附属中・高等学校で7年教諭を務め、この度、広島商船高等専門学校に携わる機会を頂きました。

少し遠回りをしてきたことによって培うことができたパーソナルトレーナーとしての専門性や、教育現場での経験を授業や課外活動を通して学生に還元することを心がけています。まだまだ若手のつもりで頑張っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



流通情報工学科  
助教  
藤井 成弥

現在、本校の教員と大学院博士課程の学生の二足の草鞋を履いております、流通情報工学科助教の藤井成弥です。大学院では交通分野における実証的な研究をしており、本校では統計学の授業を担当しています。学生に授業で学んだ知識を、現実はどう活かすことができるのか意識してもらえる授業を心がけています。

今年度4月に着任しこの原稿を書くまでの数ヶ月間、私は様々なシーンで学生の逞しさに驚かされることがありました。同時に学生の更なる成長へ、大きく期待が膨らんでおります。青春を謳歌する、部活動に打ち込む、勉強に専念する、趣味に没頭する、キャンパスライフにおける組み合わせは膨大です。学生の皆さん、どうぞたくさん素敵な二足の草鞋を履いて充実した学生生活を過ごしてください。

私は微力ながらその一助になれるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



## 教職員表彰

賞 名	所属・職名	氏 名
2023年度日本機械学会教育賞	一般教科 准教授	藤 原 滋 泰
2023年度日本機械学会教育賞	名誉教授	瀧 口 三 千 弘
令和5年度国立高等専門学校教員顕彰 若手部門分野別優秀賞	商船学科 准教授	岸 拓 真



日本機械学会贈賞式集合写真



国立高等専門学校教員顕彰写真



発行年月 令和7年3月  
編集・発行 独立行政法人国立高等専門学校機構  
                  広島商船高等専門学校  
住所 〒725-0231  
                  広島県豊田郡大崎上島町東野4272-1  
電話 代表 0846-65-3101  
                  総務企画係 0846-67-3000  
ホームページ <https://www.hiroshima-cmt.ac.jp>

